



「尚徳」 6月号 第512号

平成27年6月30日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/~fusho/>

題字「尚徳」は、住川英明校長



「不揃い」と「均一」

副校長 谷口 英昭

「不揃いの木を組む」（小川三夫著 2012.3 文春文庫）という本を読む機会があった。法輪寺三重塔、薬師寺金堂、薬師寺西塔（三重塔）の再建に尽力するなど全国各地の寺院の改修、再建、新築等に関わっている宮大工の小川三夫氏の著書である。小川氏は、他にも本を出版されたり、各地で講演をなさっているのでご存知の方もいらっしゃると思う。

正直、教師にとっては耳の痛いことが書かれている。

しかし、小川氏の言うことには、教育を別の視点から見つめ直す上でも、耳を傾けるに値するものであると感じる。教師あるいは学校というその立場に胡坐をかくことの危うさを次のように指摘してくれている。

「不揃いは社会の基本だ。不揃いな材でつくった法隆寺や薬師寺の塔は、それらが一本一本支え合って、『総持ち』で立っていられる。総持ち、いい言葉だな。みんな持つ。不揃いこそ、社会のかたちとしては安定感があるし、強い。」「学校の先生だって、教わるということのほうはわからないで、教える技術だけ覚えてきて教えるんだもの、子どものほうはわからないわ。子どものことだって、この子はどういう子か、何を考えているのかを感じることもできないのに、腹を立てて怒ったり、あるいはこのままでいいやってしてしまうから、子どもはどうしたらいいか悩んでしまう。それというのも先生が、教わるとはどういうことか、その子が何を感じているか、あるいは何を考えているかに無知だからだよ。それじゃ子どもがかわいそうだ。」

効率優先の企業論理からすると大量生産、「均一」な物づくり、「均一」な人材育成は必須。教育の世界でも、これだけ教育内容が重厚になっていることを考えると、効率化を図ることも否定できない。

しかし、それだけでいいのかと問うと教育に携わる誰もが肯定しないであろう。効率に目先をごまかされず、意識して日々を過ごす必要がある。

法隆寺創建時代には、木材等の素材も道具もまちまちで、一つとして同じ物はなかった。しかし、当時の大工は、木の性質を読み取り、それにそって作られた不揃いの部材をうまく組み合わせ、後世にも残る建築物を完成させたのだ。教育の場でもそうした視点も同時に持ち合わせ、子ども一人一人に関わっていく必要があると改めて反省させられた。



7月の主な行事予定

2日（木）弁当の日 附属中学校研究発表大会	13日（月）3年学年行事（13：15～）
3日（金）水質調査（4年1組）	16日（木）拡大学校保健委員会（13：00～） 水質調査（4年2組）
6日（月）夏の交通安全運動 ～15日（水）	20日（月）海の日（祝日）
7日（火）おはようおはなしの会（下学年） 委員会（6校時）	21日（火）代表委員会
8日（水）懇話会一斉パトロールの日	22日（水）夏休み前集会
9日（木）6年学年行事（5・6校時）	23日（木）夏季休業日 ～8月23日（日）
10日（金）おはようおはなしの会（上学年） 集金引き落とし日	27日（月）鳥取市水泳大会（鳥取市河原市民プール） ※選手のみ参加
	28日（火）鳥取市水泳大会予備日

学力の向上をめざして ～授業を磨く～

学力の向上は教育の命題とも言えますが、その根幹をなすのが授業であり、授業の腕を磨くための授業研究はなくてはならないものです。

本校では、6月29日（月）に、第2回校内授業研究会を実施しました。

今回は、磯江教諭（3年理科）と夏目教諭（6年体育）が公開授業を行いました。理科については、県教育センターの研修も兼ねており、県内の先生方も参観に訪れ、授業をもとに協議を深めました。

今後も、各教科・領域で授業研究に取り組み、授業の腕を磨いていきます。



【3年理科 実験がうまくいったぞ！】

お世話になりました ～尚徳クリーン活動

6月27日（土）に、多くの児童・保護者の皆様にお世話になり、クリーン活動をしていただきました。

日々の清掃活動では行き届かない、窓ふきや草刈りなど本当に長時間にわたって清掃していただき、きれいにしていただきました。ありがとうございました。

また、懇話会執行部や生活安全部の皆様には、この活動の準備や当日の進行・後片付けなど、本当にお世話になりました。

春川初等学校との直接交流中止

昨年、フェリー事故の影響で児童の直接交流が中止となり、本年度の交流をととても楽しみにしていました。しかし、韓国での中東呼吸器症候群（マーズ）感染の拡大に伴い、今年度も、児童の直接交流は中止となりました。

昨年同様、児童作品の交流のほか、今年は、ビデオレターなど少しでも工夫を凝らし、交流を続けていく予定です。

泳力アップをめざして～水泳学習始まる～

6年生が中心となってきれいにしたプールで、きょうだい学年がいっしょになってプール開きを行いました。

上の学年のお兄さんお姉さんがクロール・平泳ぎなどの泳法のお手本を披露したあと、水の中を走ったり、もぐったり、泳いだりしました。

水泳の学習では、泳力の向上だけでなく、自他の命を守るための知識・技能を習得することも重要です。

ルールやマナーをしっかり守り、安全で楽しい水泳学習を進めていきます。



【上級生が下級生の手を取って水の中に…】

能楽舞台鑑賞 ～伝統芸能に触れる～

6月16日（火）に、能楽舞台鑑賞を実施しました。

日本の伝統芸能である能楽を鑑賞し、本物の芸術に触れることにより、伝統文化に対する関心を高めることをねらいとしています。

6年生は、事前に公演に関するワークショップを行い、実際の舞台に演者として参加しました。鑑賞するだけでなく、演じることにより、その芸術の奥深さ、崇高さを感じてくれたと思います。



【迫真の舞に、思わず身を乗り出します！】